

黒潮

和歌山県看護協会 会報

第160号

令和4年8月発行

CONTENTS

- ・令和4年度通常総会を終えて … 2
- ・日本看護協会会長表彰を受賞して … 3
- ・和歌山県看護協会会長表彰 … 3
- ・保健師のコーナー … 4
- ・助産師のコーナー … 4
- ・看護師のコーナー … 4
- ・地域連携のコーナー … 5
- ・フレッシュナース … 5
- ・私の病院の災害対策
災害拠点病院としての取り組み
(トピックス 2022) … 6～7
- ・災害支援ナースになって … 8
- ・訪問看護ステーションだより … 9
- ・医療安全数珠つなぎ … 9
- ・リレーエッセイ 友達の輪 … 9
- ・私の“Happy Time” … 9
- ・施設だより … 10
- ・プレゼント … 10
- ＜和歌山県看護協会の動き＞
- ・令和3年度 公益社団法人
和歌山県看護協会通常総会 … 11
- ・三職能合同研修会のお知らせ … 11
- ・臨床心理士・公認心理師による相談窓口 … 11
- ・令和4年度
役員および各委員会名簿 … 12
- ・理事会報告 … 12



済生会和歌山病院 ▶ ＜施設だより＞(10ページ掲載)



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 和歌山県看護協会

発行所 公益社団法人 和歌山県看護協会

発行人 東 直子

〒642-0017 海南市南赤坂17番地 TEL.073-483-1005 FAX.073-483-1266

<http://www.wakayama-kangokyokai.or.jp>

和歌山県看護協会会員数

令和4年7月27日現在 登録者数

会員総数	6,304名
名誉会員	2名
保健師	145名
助産師	221名
看護師	5,825名
准看護師	111名

令和4年度通常総会を終えて

公益社団法人 和歌山県看護協会 副会長 岡本 恭子



会員の皆様におかれましては、平素より和歌山県看護協会事業推進にご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて新型コロナウイルス感染症は、未だ終息は見えてこない状況です。しかし社会の状況は、人々の健康の保護と経済活動の両立という課題に向き合っています。最近のニュースでは、海外からの旅行者を徐々にではありますが、受け入れが始まりました。第7波を警戒しながら、日常をいかに取り戻していくかが今後の課題かと思います。しかしながら変異を繰り返し終息の見えないコロナ禍において、自身もリスクに晒されながら最前線で働く看護職の皆さまに、深く心から敬意と感謝を申し上げます。

この度、6月25日（土）に「令和4年度和歌山県看護協会通常総会」を海南市南赤坂の看護研修センター大ホールにおいて、新型コロナウイルス感染症を鑑み、昨年同様規模を縮小して開催されました。また、感染対策のため研修センター内に複数の別会場を設けWeb参加もございました。総会は会員数6,150名のうち、参加者数92名、役員21名、委任状4,739名、合計4,852名で、報告事項・決議事項を協議いただきました。報告事項では、令和3年度理事会報告から始まり事業報告、各委員会報告がなされ、令和4年度重点事業、事業計画、収支予算が示され、それぞれが承認されました。議決事項では、会長はじめ副会長2名、専務・常任理事、地区理事5名、准看護師理事、監事の選出について承認されました。また、8名の推薦委員と令和5年度の代議員・予備代議員の選出についても承認されました。会員皆さまのご理解、ご協力に感謝申し上げます。

総会に先立ち、12名の会員の方々が和歌山県看護協会会長表彰を受賞されました。表彰を受けられた皆さま、誠におめでとうございます。また、6月8日（水）の日本看護協会通常総会において、小泉美穂前専務理事が日本看護協会会長表彰を受賞されました。長きにわたり看護協会活動にご尽力いただきましたことを、感謝とともにお祝い申し上げます。

さて、団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、「効率かつ質の高い医療提供体制の構築」と「地域包括ケアの構築」が急務の課題となっています。また、中長期的な人口減少・高齢化の進行を見据えつつ、今般の新型コロナウイルス感染症への対応により顕在化した地域医療への課題を含め、地域の実情に応じた医療

体制を構築することが求められています。少子超高齢社会における、県民の誰もが「住み慣れた地域で安心して適切な医療を受けられる社会」を実現するためには、医療・看護の多様化、看護職を軸にした多職種連携が重要です。

和歌山県看護協会におきましてもこのような現状や課題を認識し、本協会の理念である「県民の健康な生活の実現」を目指して、「看護の質の向上」「看護職が生き生きと働き続けられる環境づくり」「看護領域の開発・展開」を使命に掲げ、全ての県民の期待に応えられる看護の実現を目指してまいります。そのために次の6項目を重点事業として掲げ、活動してまいります。

重点事業

1. 看護の実践能力及び専門性の強化
2. 働き続けられる環境づくりと人材確保定着の推進
3. 県民の健康な生活実現と推進
4. 地域包括ケアシステムの構築と推進
5. 保健師活動の体制整備と機能強化
6. 助産実践能力の強化とその体制整備

今年度も、看護教育に関する事業として多様な教育内容を計画しております。新たな県の受託事業として「病院勤務以外の看護師等に対する認知症対応力向上研修」が開催予定です。また新規事業として、新型コロナウイルス感染症対策事業関係として、「保健所体制強化事業」「新型コロナウイルス感染症対応看護職員等の人材確保事業」を重点事業とともに進めてまいります。今後、新型コロナウイルス感染症の完全な終息が容易に見通せない状況ですが、対面・Web等その時々状況に柔軟に合わせながら、会員の皆さまに提供できるよう運営を進めてまいります。

今後も看護職能団体として、役員、各地区支部、各委員をはじめ会員の皆さまとともに、各関係団体、各関係機関、行政と連携を深め県民の皆さまの健康と生活を支えるという社会使命を果たし、期待される協会づくりに努めてまいりますので、会員皆さまのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日本看護協会長表彰を受賞して

小泉 美穂

この度、栄えある日本看護協会長表彰を賜りましたことは、身に余る光栄と存じます。ご推挙くださいました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

看護師として約半世紀近く勤められたのも、先輩、後輩、同僚の良き仲間と、そして支えてくれた家族のお蔭と感謝しています。

新型コロナウイルス感染症により医療・福

祉の現場では、感染対策に多くの時間を割くことになり、また社会経済活動が自粛され多くの人が生活の困窮を訴えています。看護協会・看護連盟の役員を経験し、声を上げる事の重要性を学びました。

今後ご指導・ご支援を頂きながら微力ではありますが、看護協会の活動を応援したいと思っています。



和歌山県看護協会長表彰

表彰された皆さんの声を聞いてみました！

- ① 抱負・モットー ② 後輩に伝えたい一言



- ① 信頼関係を築く
② 人と人とのつながりを大切に。向上心を忘れずに

海草振興局健康福祉部（海南保健所） 秦野 美智代

- ① 仕事は楽しく、やりがいをもって
② 人を大切に思う気持ちと丁寧さ

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 松岡 淑子

私は看護基礎教育に携わり、学生の力を信じ、出会いに感謝することを心掛けてきました。今後も同様に続けていきたいと考えています。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

学校法人平成医療学園和歌山看護専門学校 中戸 由美子

- ① いつも笑顔で優しく接する
② 相手の立場に立って感謝を忘れずに

自宅 池本 義子

- ① しあわせはいつも自分の心がきめる
② Smile & Think で毎日楽しく、周囲を笑顔に

海南医療センター 松尾 真由美

- ① 感謝の気持ちを忘れない
② 立ち止まりながら丁寧な看護の提供を

紀南病院 榎木谷 久美子

- ① 悩み迷ったときは基本に戻り考える
② 患者の生命力を引き出す看護を提供しよう

和歌山県立医科大学附属病院 向井 君子

- ① いつも元気に楽しく、おもしろいやりを持って
② どんな時も優しい目、優しい手、感謝の気持ちを忘れずに

名手病院 尾崎 りえ

- ① 強く、やさしく、朗らかに
② 一定の状態に満足していると、色あせてしまう

日本赤十字社和歌山医療センター 藪本 あゆ子

- ① 一笑懸命
② 時には立ち止まり深呼吸、そして前へ進もう

社会医療法人 角谷整形外科病院 岡 弘子

- ① 「ありがとう」の気持ちを伝える
② 行動することで次の何かを得られます

和歌山県立こころの医療センター 北垣 郁子

- ① One for All, All for One. 日々感謝
② 希望は失望に終わることはない。

和歌山県立なぎ看護学校 峯本 久美

保健師のコーナー

保健師職能委員長 中谷 秀美



若い保健師さん看護協会に入会しませんか？

今回は保健師の会員増の取り組みについてお伝えいたします。保健師の看護協会の加入は152人(R4.3/15現在)で、加入者の年代別内訳をみると20歳代8%、30歳代16%、40歳代13%、50歳代40%、60歳代19%70歳代4%となっています。50歳代以上で6割を占めており、また、就業保健師が117人、60歳以上の加入者は35人(約2割)となっており、保健師としての職業的発達は生涯続くという理解のもと退職後も加入継続を頂いています。

しかし、このまま若い世代の入会が見込めなければ、会員減少の一途をたどることになると危機感をもっています。入会をお誘いすると、「入会金年会費が高いから」「保健師に関する研

修が少ない」「役を押し付けられる」などの理由があげられます。一方で加入している方は、「保健師としての自己研鑽の必要性」や「専門職としての職能団体形成の必要性(つまり、看護職の資格を持つ個人が加入して日本最大の看護職能団体をつくるということ)」をあげられます。

保健師職能委員会では、自己研鑽のための研修を受講することで、会員のメリットが感じられるよう、「令和4年度教育計画」の中から特に保健師向け研修を選び、紹介をしたいと考えています。また、看護協会の役を引き受けることは、助産師や看護師の職能との出会いがあり、看護の原点を思い起こし、視野を広め、大切な情報交換ができる場でもあります。若い保健師さん、看護協会に入会しませんか？

助産師のコーナー

助産師職能委員長 沖 婦美代



助産師職能委員長を拝命し1期2年目を務めさせていただきます。令和4年度の委員会活動目標は、1.「母子のための地域包括ケア病棟」の普及・推進 2.助産実践能力向上のためのキャリアアップ研修会の開催としています。

1については、2021年、日本看護協会より発刊された「母子のための地域包括ケア病棟」推進に向けた手引きを基に、各施設の開設・運営の現状について情報収集を行います。また、アドバンス助産師交流会において、院内助産・助産師外来、医療機関における産後ケア事業、地域連携における、アドバンス助産師の役割について意見交換を行いました。そして、各施設、及び和歌山県下の地域の実情に即した、妊産婦

や母子に必要な支援の提供体制が整えられるよう考えていきます。

2については、今年度の助産師研修会において、2022年8月21日(日)「臨床病態生理」「新生児フィジカルアセスメント」を計画しており、助産師職能集会、三職能合同研修会、近畿地区助産師合同研修会も開催します。研修会や職能集会等を通じたアドバンス助産師新規申請、更新の支援も委員メンバーと共に行います。

今後も委員会メンバー、そして和歌山県下、地域の関係機関と連携し、妊娠期から育児期までの切れ目ないケアの提供と助産師教育の充実を目指したいと考えます。

看護師のコーナー

看護師職能委員Ⅰ

看護師職能委員会Ⅰ 委員長 木村 和美



看護師職能委員会Ⅰ委員長を拝命し1期2年目となります。

活動目標は、①病院における看護職の役割を認識し、看護実践能力の強化をはかるための支援を行う、②県看護協会を中心とした各委員会・地区支部との連携強化とネットワークづくりを行い、情報収集・意見集約を行うとなっています。

今年度の看護師職能委員会Ⅰでは、目標を達成するため研修や交流会を企画しています。まずは7月に准看護師を対象に「医療安全と倫理」というテーマで研修会を開催予定です。チームの一員として、安全に医療を提供するために必要な医療安全に対する知識と技術について今一度学習することを目的にしています。9月にはキャリアを語ろうをテーマに恒例の「男性看護師交流会」を開催する予定です。男性看護師は増加

傾向にあります。まだまだ少ない施設もある中、他施設の仲間と語り合うことでやりがいにつながれると考えています。12月には、看護管理の面白さを知ろうをテーマに「看護管理者研修」を開催予定です。昨年度は、看護部長が日頃感じている思いを語り合いましたが、その中で次世代の看護管理者を支援する必要性を強く感じるとのご意見をいただきました。そこで、今年度は、副看護部長、主任を対象に看護管理の面白さを知り、前向きに力を発揮できるよう支援することを目的に研修会を開催する予定です。

本委員会の役割が果たせるように頑張りますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

看護師職能委員Ⅱ

看護師職能委員会Ⅱ 委員長 東 るみ子
社会医療法人黎明会 北出病院



看護師職能委員会Ⅱ委員長を拝命し、3期目の2年目最終年度となりました。活動目標は、①介護・福祉施設・在宅領域(診療所も含む)の看護の質の向上と連携、②地域包括ケアシステムの推進に向けたネットワークづくり、③三職能の連携強化、④在宅領域の協会の確保、となっております。

今年度は、①については、「クオリティ・オブ・デス」研修とし、多死社会における看護職として死生観を養い、患者・家族への支援のあり方を考える機会となるような内容になっています。②については、訪問看護連絡協議会との合同研修会とし

て、病院と在宅の看護をつなぐ連携の在り方についてご講演いただきます。また、高齢者ケア施設看護職交流会では、看護管理者（責任者）を対象とし、看Ⅱ領域で求められているBCPについて、策定プロセスから具体的な取り組みについて習得していただく内容です。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためハイブリット研修とし、北から南まで多くの方にご参加いただきました。

た。Web研修は、時間的ロスが少なく参加しやすいと好評です。今年度も引き続きハイブリットにて開催する予定です。

「暮らしの場を支える看護職」の声をより多く日本看護協会に届けるために、委員会メンバーと力を合わせ魅力ある研修会を企画していきますので、是非皆様にご参加、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

地域連携のコーナー

和歌浦中央病院

地域連携室長 米澤 和江



当院の基本理念は「地域の皆様から、親しまれ、信頼され、選んでいただける法人を目指します」と掲げています。当院の病床は一般病床50床・身体障害者病床58床・地域包括病床30床・医療療養24床のケアミックス病院です。

地域連携室は、平成17年に設置され、看護師1名から診療報酬改定等の医療体制の変化に適應する為、スタッフを増員し、現在は看護師2名・社会福祉士2名体制になりました。

設置当初は、入院患者様や家族様からは「病院のスタッフ？市役所から来た退院させる人？」等の声が聞かれ、役割が判りにくい存在だったようです。現在は各病院に地域連携室が設置され、患者様中心の入退院等に関する支援体制が、病病間、病診間、病在宅間からも取れるように整ってきました。私達は、患者様や家族様の立場に立ち「多職種間をつなげる」役割として相談しやすい雰囲気を作れないように努めています。

又、現在の医療では、患者様のアドバンス・ケア・プランニ

ングが大事ですが、一人暮らしでキーパーソンがいないケースが増えているように思います。その場合、担当者がご本人と主治医に相談しながら、金銭管理や退院先等、行政や地域包括支援センター、ケアマネージャー等多方面と連携し、在院日数を考慮しながら、共に悩みながら対応しています。又、高齢化でADLが低下した外来患者様に対しては、ケアマネージャーと連携し、介護保険の相談や訪問診療の対応もしています。そして、業務内容は以下となります。

- * 病病連携（病院間の紹介受け入れ対応）
 - * 病診連携（診療所間の紹介受け入れ対応）
 - * 病介連携（居宅ケアマネ、看護施設間の入退院時の受け入れやカンファレンス等対応）
 - * 入院外来患者様等の困りごと等相談対応等
- 今後もお気軽にご相談下さい。

★★★ フレッシュナース ★★★



和歌山生協病院

早水 美侑
結城 沙理奈

和歌山生協病院2階病棟に勤務している2年目の早水美侑と結城沙理奈です。2階病棟は一般急性期病棟でICUを含む全52床からなり入退院が多い病棟です。また、新型コロナウイルス患者の受け入れも行っており日々忙しく過ごしています。感染対策のため家族と面会ができず看護師として関わる機会も少ないですが電話や荷物の受け渡しの機会を用いて工夫を行っています。

入職してからは新しく覚える事が多く、常に気が焦るような状態でした。そんな中でも優しい先輩と一緒に頑張る同期と助け合いながら1年間頑張ることができました。

この4月から私たちにも後輩ができたので、支えてあげながらも自分たちも成長していきたいと思っています。



国保野上厚生総合病院

峯吉 凌生

「患者さんから信頼され、笑顔の絶えない看護師になりたい」という思いを胸に働き始め、約一か月がたちました。思い描く看護師像と現実の自分とのギャップに戸惑い、悩むことも多い毎日です。そんな中で、先輩看護師の丁寧な指導やサポートを受け、少しずつできることが増えていくことや患者さんから感謝の言葉をいただくことで仕事にやりがいを感じることができています。

自分のできることが増えていく一方で、人の命を預かる仕事であるため、自らの責任を意識し緊張する日々を送っています。緊張する日々が続きますが、私が理想とする看護師像を胸に笑顔忘れず、患者さんから信頼される看護師を目指して日々自己研鑽に励みたいと思います。



角谷整形外科病院

王夢雨（ワンモンユイ）

看護師として働き始め1年が経ちました。整形外科病棟に配属され、始めはわからないこともあり、先輩方に指導していただき整形外科に関する病状・看護ケアのポイントを理解できてきました。

患者の生活背景の把握、ADL向上のための指導、また他職種と連携することで、早期離床・退院を目指していきたいです。

入職した頃は、中国人の私にとって、日本語でコミュニケーションを取るのは大変な事でした。仕事はもちろん、日本語においても、先輩方の指導があり、少しずつできることが増えました。

まだまだ未熟ですが、「千里の行も足下から始まる」という諺の通り、日々の実践を振り返り、知識を深めて頼りになる看護師になれるように努めます。

私の病院の災害対策

災害拠点病院としての取り組み



新宮市立医療センター 副院長兼看護部長

栗原 久美子

放射線科兼庶務課

榎本 翔太

当院は南海トラフ地震などの津波を伴う地震が発生した場合、道路網の破綻によって陸の孤島となり、早期に外部からの医療チームや物資の支援を得られないことが危惧されています。そのため、当院では多職種で構成する災害対策委員会で知識の向上や事前対策を強化し、また地域の関係機関が参加する実動訓練の企画・実施、DMAT（Disaster Medical Assistance Team：災害派遣医療チーム）隊員の育成などを行っています。

◆ 災害対策委員会の活動

委員会は医局、看護部、薬剤部、放射線科、中央検査部、臨床工学部、リハビリテーション科、事務局など多職種の代表委員で構成され、災害対応マニュアル・BCP（Business Continuity Plan：業務継続計画）の見直しや災害物品の管理、職員向け勉強会の実施などを行っています。また、より多くの職員に災害について学んで頂けるように、委員は数年ごとに交代しています。

【年間を通して実施された災害勉強会 ～ 南海トラフ地震のとき、あなたはどう行動する ～】

第1回	災害医療の基本	① 救急医療と災害医療の違い ② 災害医療の基本原則 CSCATTTとは
第2回	トリアージについて	① トリアージの概念 ② トリアージタグの記載方法 ③ 実際にトリアージをしてみよう！
第3回	机上訓練（大規模地震想定）	
第4回	災害対策マニュアル・BCPについて	
第5回	診療エリア設置訓練（赤エリアを設置してみよう！）	
第6回	実動訓練（大規模地震想定）	

◆ 災害実動訓練の実際

当院は地域災害拠点病院に指定されており、災害時には地域の中核となって多数の傷病者を受け入れる役割などが求められます。そのため、毎年実動訓練を実施し、訓練には院内職員だけでなく、近隣の災害支援病院や消防機関、看護学生にも参加を依頼するなどして連携強化を図っています。

訓練の想定は地震災害にとらわれず、過去には市内での大型バス事故を想定し、160名規模での訓練も実施しました。院内災害対策本部の設置から事故現場へDMATの派遣、トリアージエリアの設営や外来待合廊下に臨時診療エリアの設営、実際に模擬患者で多数傷病者を受け入れて診察・検査・処置・入院など一連の流れを確認するといった訓練も行っています。このような訓練を毎年実施することで、災害時に速やかに対応できるとともに、職員の防災意識の高揚を図ることも目的としています。

【院内における災害訓練】



◆ DMAT の活動

当院では平成28年4月に発生した熊本地震に対し、医師1名・看護師2名・診療放射線技師1名の計4名で構成するDMATを現地に派遣しました。DMATとは災害急性期に医療活動ができるよう訓練を受けたチームのことで、平時の研修や訓練に参加するだけでなく、実災害での活動を経験することで自院における災害対応の強化につながると考えています。



【熊本地震に対する派遣DMAT】

◆ まとめ

地域における病院の役割、また院内における個々人の役割がはっきりすると、災害時に「何を行うべきか」が明確になり、よりの確な対応ができるようになります。令和4年6月7日に気象庁は、南海トラフを震源とした巨大地震が30年以内に70～80%の確率で発生すると報告しました。もしそのような災害が発生した場合でも、在院患者の安全確保、新たな傷病者の受入れ、当医療圏における災害拠点病院として病院機能を継続し、一人でも多くの命を救うことができるように今後も災害に強い安心安全な病院作りに努めてまいります。



災害支援ナースになって



くしもと町立病院 柿本 朋子



私の住む串本町は、南海トラフを震源とする大地震発生時に津波被害が大きいと予想されています。全国各地で起きる自然災害と悲惨な被災地の状況をニュースで目にする度、自分の住む地域もいつ被災してもおかしくないと感じ、大きな不安を感じました。いつ来るかわからない災害に備えるためにも、災害や災害看護について知らないままではいけないと感じ、看護協会主催の災害看護研修Ⅰ・Ⅱに参加しました。そして、「私でもいつか何処かで力になれる事があるかもしれない」と災害支援ナースに登録することにしたのです。

その後も日本各地で自然災害がありました。幸い自分の住む県内や近隣他府県での災害はなかったのですが、災害支援ナースに登録する上で次第にある葛藤が大きくなりました。「もし県内で大災害が起き派遣要請がかかったら、自分は被災地へ向かうことは出来るのか？」主人は職業上、災害などが起きると出勤になるため家を空けます。もし私が派遣されるとなると、4人の子どもたちは誰か(祖父母)に見てもらわなければなりません。災害支援ナースに登録したけれど、そんな理由で派遣要請が受けられないならば、中途半端に登録するべきではないのではないか。と考えるようになったのです。そんな中、災害看護フォローアップ研修に参加しました。私はグループワークの際、思い切ってこの葛藤について相談しました。すると、先生が『災害や災害看護に興味を持ち災害支援ナースに登録することは何も間違っていない。女性が多い職業で、これから結婚する若い世代、出産・育児中の世代、介護をする世代、様々なライフステージの中で派遣要請を受けられる看護師は本当に一握りであり、だからこそ登録者数を増やして母体を大きくすることに意味があるのだ』と話してくださいました。

今の私は、すぐには被災地に向かえないかもしれませんが、これからも災害看護についての学習を続けたいと思います。そして今年度2回目の登録更新時期を迎えますが、もう迷うことなく更新手続きをしたいと思っています。

東洋羽毛

睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします

東洋羽毛では、「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

*オンラインセミナーの開催も承ります。

睡眠セミナー講師は新型コロナウイルスの感染予防対策（換温・うがい・手指のアルコール消毒・マスク等の着用・受講者とのソーシャルディスタンスの確保等）を行いながらセミナーを実施しています。

今よりもぐっすり、
幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです

《お役に立てる主な研修》

- 医療安全対策研修
- メンタルヘルス研修
- 学校保健委員会
- 高齢者の睡眠ケア

*他、施設内研修などご相談承ります
(事前にお打ち合わせにお伺いする事も可能です)

◆セミナーに申しましては、二次元バーコードより
お問い合わせください。担当よりご連絡させていただきます。
<https://www.toyoumo.co.jp/seminar>



東洋羽毛関西販売株式会社

和歌山営業所

和歌山県和歌山市吹屋町3-44-2



0120-32-7766

訪問看護 ステーション だより



済生会有田訪問看護ステーション

管理者 田中 裕子

済生会有田訪問看護ステーションは、済生会有田病院の地域医療福祉部内に事業所を構え、看護師8名（パート2名）、理学療法士2名、事務員2名で構成しています。

「ぬくもりのある生活を続けることができる」・

「在宅療養者や家族の希望に寄り添い、QOLの向上に貢献する」・
「自己啓発と多職種連携を図り、安心した生活が送れるよう支援する」を方針とし活動しています。

癌など人生の終末期を迎える療養者の増加に伴い、スタッフは緩和ケアやエンド・オブ・ライフケアなどの研修を受講し、難病の療養者には看護・リハビリ間での連携を強化するなど専門的な視点を持ち関わる事ができるよう自己研鑽に努めています。

療養者、家族の方からの『看護師さんが来てくれて安心した』『住み慣れた家で看取れて良かった』というお言葉を力に変え、スタッフ一丸となって頑張っていきたいと思ひます。

医療安全

数珠つなぎ

和歌山県立医科大学 附属病院紀北分院

医療安全推進室 森口 奈美



医療安全管理者と病棟師長という二足の草鞋をはき、日々過ごしています。

発生したインシデントの根本原因に対する対策が講じられるよう、各部門のリスクマネージャーや看護部リンクナースの活動をサポートしています。

また年1回は、全職員に対する一次救命研修を行っています。来院される方にとっては、院内で働く全ての職員が病院の職員と認識されます。院内の職員一丸となって、患者さんの安全が守れるよう取り組んでいます。

次回号に紹介させていただく方は、橋本市民病院 近藤 史子 様 です

リレーエッセイ

友達の輪

Vol.70

新宮市立医療センター

山本 恵



当院での分娩が6月から再開できることになり、私達スタッフも大変嬉しく安堵しております。これを機に、助産師外来や宿泊型産後ケアも実施できるよう、準備を進めているところです。

私個人としては、今年はアドバンス助産師の取得、そして興味のある骨盤ケアの学習を深めたいと思っています。

子供達が大きくなった今、私の帰宅時、全身で喜びを表現してくれるのは愛犬だけですが、それが癒しや励みになっています。

次回は、那智勝浦町立温泉病院の坂井 多恵子 さんをご紹介します。

私の

“Happy Time”



那智勝浦町立温泉病院 玉置 美和

私の愛犬は15歳になる「こたろう」と、1歳の「はる」です。我が家の床はマットが敷き詰められ段差にはスロープがあり、まさに犬ファーストな生活をしています。

去年からこたろうは、ヘルニアが悪化して歩けなくなりました。病院への通院や排泄の介助など、まるで人が老いるのと同じようにお世話も増えました。でも不思議と介護の負担感はなく、むしろ愛おしさは増すばかりです。人と犬・・・種は違うもの同士、共通の言語も持たずとも、心通わし愛しむ存在にとっても癒されている今日この頃です。

次回は、新宮市立医療センター 二河 良成 さんの“Happy Time”です。

施設だより

済生会和歌山病院

看護部長 中山 美代子



済生会は、明治天皇が医療によって生活困窮者を救済しようと明治44（1911）年に設立しました。100年以上にわたる活動をふまえ、今、①生活困窮者を **済**（すく）う、②医療で地域の **生**（いのち）を守る、③医療と福祉、**会**を挙げて切れ目のないサービスを提供するという三つの目標を掲げ、日本最

大の社会福祉法人として全職員約62,000人が40都道府県で医療・保健・福祉活動を展開しています。

つぎに、紋章の由来です。初代総裁・伏見宮貞愛親王殿下は、明治45年、済生会の事業の精神を、野に咲く撫子（なでしこ）に託して歌にお詠みになりました。



『撫子の歌』

露にふす 末野の小草 いかにぞと あさ夕かかる わがころかな

野の果てで、露に打たれてしおれる撫子のように、生活に困窮し、社会の片隅で病んで伏している人はいないだろうか、いつも気にかかってしかたがない

いつの世にもその趣旨を忘れないようにと、撫子の花葉に露をあしらったものを、大正1年以来、済生会の紋章としています。

続きまして、当院の沿革です。大正2年9月1日に、関西では大阪に次いで2番目に当院の前身である済生会和歌山診療所が開設されました。その後、第二次世界大戦の空襲により診療所は全焼しましたが、昭和23年に和歌山市手平（現・新生町）に6診療科・37床の新たな病院として済生会和歌山病院が開設され、平成15年に和歌山城を眼前に望む和歌山市街中心部に改築移転いたしました。

現在は、18診療科、急性期病床160床、回復期リハビリテーション病床40床の急性期病院および新型コロナ重点医療機関、さらに救急医療、災害医療にも重点をおき、地域社会に親しまれ、信頼され、患者さんも職員も元気が出る病院をめざしています。

キャッチフレーズは、「地域と共に、和歌山と共に、これからも共に、済生会和歌山病院」これを胸に刻み、患者さんやご家族だけでなくすべての人にやさしく、言葉は丁寧、行動は迅速に、をモットーに全職員、頑張っています。

第42回

プレゼント!

はがきに ①氏名 ②会員番号 ③郵便番号・住所 ④電話番号 ⑤勤務先名 ⑥本紙へのご意見・ご要望を明記の上、9月7日（水）までにお送りください。

（消印有効・1人1通のみ）

抽選の上、当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。



「足まくら」

または

「クオカード」

1,000円分

5名様に!

どちらか1つ
当たります!

宛先

〒642-0017 海南市南赤坂17 和歌山県看護協会 「8月号プレゼント」係

和歌山県看護協会の動き



令和4年度 公益社団法人和歌山県看護協会通常総会

令和4年6月25日(土)、通常総会が開催されました。

今年度は昨年度より人数枠を広げ、看護研修センター大ホールをメイン会場、研修室1と2をサブ会場として感染対策を講じて開催いたしました。また、リアルタイムでWeb視聴もできる形としました。会場出席者92名、役員21名、委任状4,739名(うち、Web視聴44名)、合計4,852名参加での開催となりました。役員等の選出、承認、及び、決算・監査報告が承認され、令和4年度も会員の皆様のご理解とご協力をいただきまして、様々な課題に向き合いつつ事業に取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

三職能合同研修会のお知らせ

日時 ▶ 9月10日(土) 10:00～16:00

| Web受付(9:30～)

場所 ▶ 和歌山県看護研修センター 大ホール

テーマ ▶ 「地域共生社会の実現に向けて」

10:00～ 講義:和歌山大学経済学部 教授 金川 めぐみ先生

13:00～ シンポジウム:各職能の立場で連携を進めるための具体的な活動

座長:東京保健医療大学和歌山看護学部 戸石 未央先生

保健師・助産師・看護師職能Ⅰ・看護師職能Ⅱそれぞれの立場で発表

意見交換

お知らせ

臨床心理士・公認心理師による相談窓口を開設します

新型コロナウイルス感染症対応する看護職に限らず、多彩な環境で働く看護職の悩みや問題を支援します。

新型コロナウイルス感染症対応での仕事上の悩み、また、仕事に関する悩みを抱えている方退職を考えている方、身近に相談できる方がいらっしゃらない方、この窓口をご利用ください。

日程 ▶ 令和4年10月20日(木)、11月15日(火)、令和5年1月19日(木)

時間 ▶ 10時から16時 完全予約制 1人50分程度 個別無料相談

相談方法 ▶ 対面(看護研修センターに来所)、オンラインでの相談(Zoom)、電話での相談

対象 ▶ 和歌山県内の看護職

場所 ▶ 看護研修センター(海南市南赤坂17番地)

予約先 ▶ 和歌山県ナースセンター(電話073-483-0234・073-483-1005)

予約時相談方法をお申し出ください。オンライン相談の場合は、メールアドレス等をお伺いします。

令和4年4月から専用電話窓口を開設しています。

電話番号:090-5064-1298 平日9時から16時30分

電話相談は看護職が対応します。

令和4年度 役員および各委員会名簿

★印は委員長

役 職 名	氏 名
役 員	
会 長	東 直 子
副会長	岡 本 恭 子
副会長	岡 本 登代美
専務理事	岡 室 優
常任理事	松 下 津也子
書記長	小 川 政 予
職能理事（保健師）	中 谷 秀 美
職能理事（助産師）	沖 婦美代
職能理事（看護師Ⅰ）	木 村 和 美
職能理事（看護師Ⅱ）	東 本 恭 子
地区理事（伊都）	西 未 知 子
地区理事（那賀）	稲 垣 伊津穂
地区理事（和歌山）	芝 瀧 ひろみ
地区理事（海南・海草）	清 水 多津子
地区理事（有田）	御 前 有 美
地区理事（日高）	小 松 香世美
地区理事（田辺）	谷 本 あけみ
地区理事（新宮・串本）	栗 原 久美子
准看護師理事	嶋 田 順 子
監 事	黒 田 美也子
監 事	石 本 千 珠

職 能 委 員 会	
保健師職能委員会 ★	中 谷 秀 美 天 坂 本 辰 美 塩 崎 裕 美 西 村 尚 美 木 下 有 香 笹 井 涼 加 深 井 あおい
助産師職能委員会 ★	沖 婦美代 田 中 早 苗 山 本 恵 世 西 川 祥 香 池 本 加 代 原 田 あかね
看護師職能委員会Ⅰ ★	木 村 和 美 本 久保 弥 生 堀 永 和 美 小 松 香世美 鈴 木 沙 知 岩 崎 里 奈 北 端 恵 子

役 職 名	氏 名
看護師職能委員会Ⅱ ★	東 本 恭 子 佐 藤 子 子 柏 谷 恵 子 玉 置 雅 祥 廣 畑 直 子 高 塚 美 都 角 山 敬 里 山 下 陽 子

常 任 委 員 会	
社会経済福祉委員会 ★	北 山 真由美 前 田 忠 己 廣 野 優 子 前 西 有里子 柴 田 かおり 久 保 乃 英 武 内 龍 伸 福 島 治 美 木 下 貴 稔 上 田 伊津代 高 垣 なつみ 石 井 千有季 奈 良 園 子 高 垣 幸 三 島 田 紀 子 仁 木 崇 之 北 岡 雅 代 坂 本 絵 美 清 山 沙 紀 並 上 都 紀 玉 野 香 織 武 田 美 和 山 下 文 佳 岩 本 祐三子 辻 本 さちこ 桎 葉 雅 人 赤 眞 絵 美 山 田 桂 子 西 波 香 子 田 邊 美 香 川 北 美 紀 藁 科 佳 代 井 原 かおり 西 あづさ 向 友 代 横 芝 真 紀
教育委員会 ★	
広報委員会 ★	
看護研究学会委員会 ★	
医療安全対策委員会 ★	
災害看護対策委員会 ★	

役 職 名	氏 名
二 河 絵 美 天 野 智 朋 柿 本 朋 子	
特 別 委 員 会	
まちの保健室運営委員会 ★	藤 原 昌 子 福 本 英 美 小 川 政 予 湯 寺 由 起 井 前 和 美 上 裕 都 子 打 越 佳 恵 村 上 きみよ 山 東 明 子 向 井 君 子 廣 瀬 朱 実 小 松 香世美 上 平 絹 代 角 谷 知恵美 内 海 みよ子 中 家 まゆみ 阿 部 雅 美 藤 原 亮 介 尾 崎 かおり 日 置 真 弓 汐 崎 末 子
ナースセンター事業 推進委員会 ★	亀 井 美都子 上 裕 佳 恵 打 越 友美子 村 上 きみよ 山 東 明 子 向 井 君 子 廣 瀬 朱 実 小 松 香世美 上 平 絹 代 角 谷 知恵美 内 海 みよ子 中 家 まゆみ 阿 部 雅 美 藤 原 亮 介 尾 崎 かおり 日 置 真 弓 汐 崎 末 子
認定看護管理者教育 運営委員会 ★	
認定看護師 フォローアップ委員会 ★	

そ の 他 委 員 会	
和歌山認定看護管理者会 ★	仲 澤 妙 美 中 尾 ひろみ 北 垣 郁 子 魚 崎 操 子 糺 谷 博 枝 藤 川 容 明 日 裏 明 美 平 井 佳 津 大 川 知 子 寺 本 かり 柴 田 かおり 坂 井 多恵子 有 本 公 美 木 村 収 作 前 山 林 千 晶 山 本 敦 子 松 谷 万美子 内 松 原 努
推薦委員会	
選挙管理委員会 ★	

令和4年度 第1回理事会

日 時：令和4年5月24日（火）13:30～15:00
場 所：看護研修センター 大ホール

I. 協議事項

- 令和3年度事業実施報告（案）について
- 令和4年度和歌山県看護協会役員及び推薦委員について
- 令和5年度日本看護協会代議員及び予備代議員について
- 令和4年度保健師職能委員会・看護師職能委員会・推薦委員会について
- 令和3年度決算報告並びに監査報告について
- ナース章受章候補者の推薦について

以上承認

II. 報告事項

- 日本看護協会主催会議報告
- 県内関連団体会議参加報告
- 会員数について
- 総会の打合せ
- その他

令和4年度 第2回理事会

日 時：令和4年6月29日（水）13:30～14:30
場 所：看護研修センター 大ホール

I. 協議事項

- 役員の選定について
- 円滑な事業運営について（理事会などの年間計画について）
- その他

以上承認

II. 報告事項

- 令和4年度事業計画について（各職能委員会・各地区理事）
- 日本看護協会理事会報告
- 県内関連団体会議参加報告
- 会員数について
- その他